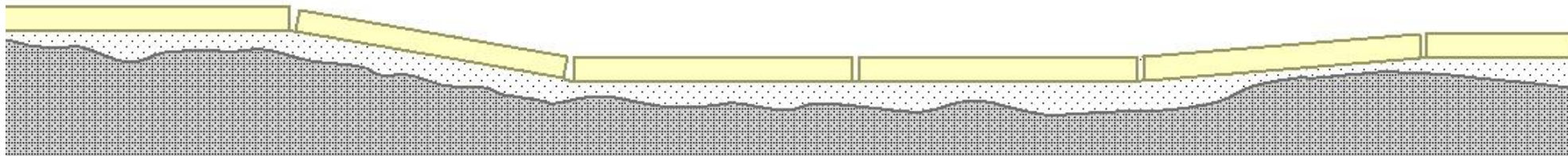


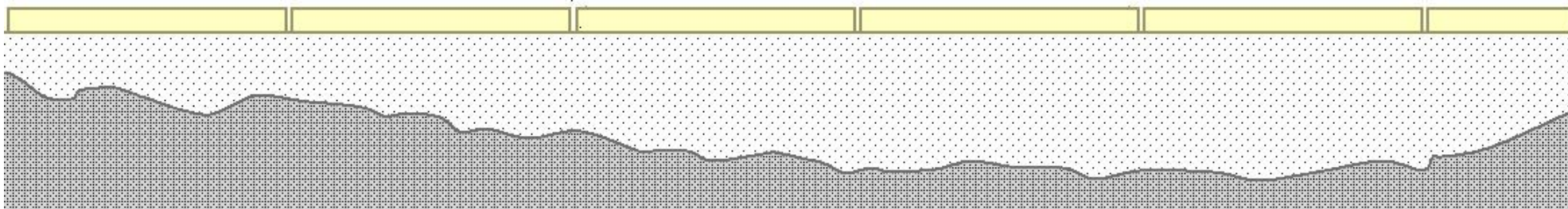
## □ 圧着工法

下地に不陸がある場合、圧着工法では下地の傾斜を拾いやすくなってしまいます。



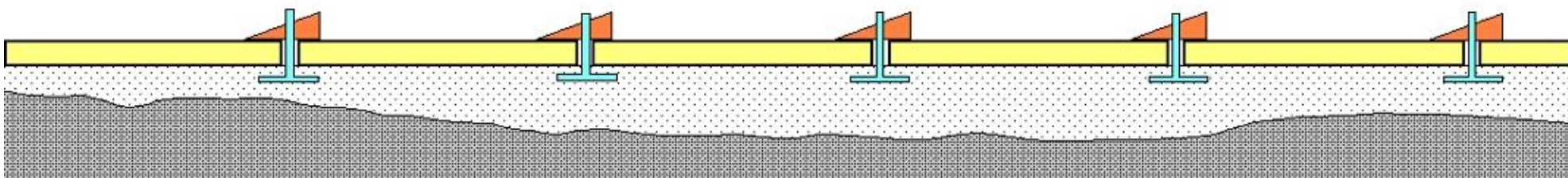
## □ バサモル工法

バサモル工法では、下地の不陸を拾わずに水平に仕上る事が出来ます。



## □ クリップ工法

クリップ工法では、下地の不陸を拾わずきれいに施工が出来ます。



# アドユカピタリボンドA

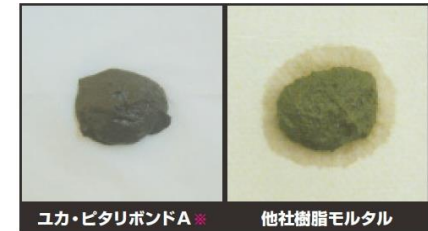


張った後剥がして  
密着度を確認しました。



保水性が高い！  
保水性が高いので、ドライアウトが  
起こりにくくなっています。

ティッシュの上に乗せてみました。

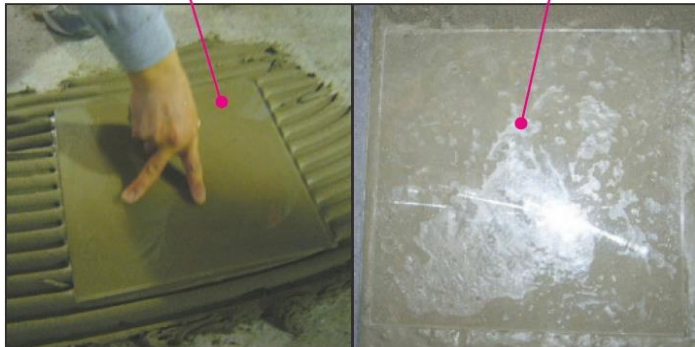


ユカ・ピタリボンドA ※ 他社樹脂モルタル  
※ 下地コンクリートの吸水を調整する必要はありません。  
ただし吸水が激しい場合は下地の洗浄や下地プライマーが必要です。

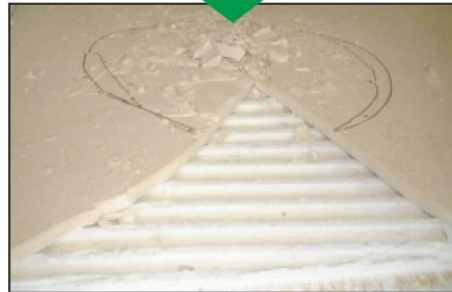
優れた密着性  
クリアボードで軽く圧着してみました。

大判ユカ・セルフボンドで圧着施工すると大判タイルでも隅々までボンドが密着しやすい

普通の圧着セメントやバサモル施工では空気が入りやすいのでタイルの浮きが発生しやすい



不具合事例  
不陸調整不足 圧着不足  
オープンタイムが長くボンドの表面が皮張りしている



## クリップ工法のご紹介

クリップ工法とは、専用のクリップ・くさび・プライヤーを使用して、タイルを平滑に施工する事が出来る工法です。



クリップ



くさび



プライヤー



目地ピッチ



① 接着剤を床面に塗布する



② クリップを、タイルとボンドの間に入れる



③ タイル裏面に接着剤を塗布する



④ タイルを貼る



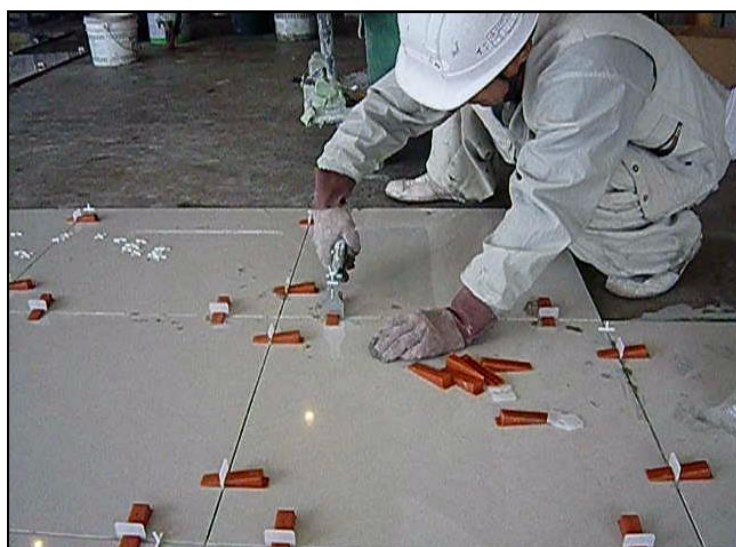
⑤ 目地ピッチで3mmの目地幅を確保する



⑥ クリップにくさびを入れる



⑦ プライヤーでくさびをしめる



段差解消の断面

